

生駒北小中学校だより

令和8年1月号

文責 校長 小竹仙哉



【学校教育目標】 自ら考え行動し、未来を切り開く児童・生徒の育成

自分の決めた目標達成にむけて力強く一步一步着実に成長し続けることを願って

新年あけましておめでとうございます。2026年がスタートしました。今年の干支(えと)は、丙午(ひのえ・うま)です。どんな年になるのか調べてみますと、「丙(ひのえ)」は十干(じっかん)の3番目で、「陽の火(太陽)を意味し、明るさ・情熱・活発さなどを表し、火や燃えさかるエネルギーの象徴」、十二支の「午(うま)」は「午は太陽が最も高く昇る正午の時間帯を表している」ので、陽気・情熱・前進・飛躍など、力強く明るいイメージを持つ干支」ということでした。困難な壁に当たったとき、全力をふりしぼりあきらめないで、いろいろなやり方でチャレンジして成長していったほしいと思います。



さて、3学期の始業式を7日にエアコンのきいた体育館で行いました。式辞で、大きな目標をいきなり達成することは難しいから、まず小さな目標を設定してチャレンジしていくことの大切さや、状況に合わせて目標を設定する柔軟さも必要であることを話しました。これまで私は、『しっかりと考えて、自分で決めて、責任を持って行動する』ことの大切さを折に触れ、子どもたちに話してきました。それを土台に3学期は目標を持ってそれに向かって粘り強く柔軟に行動できる人になってほしいです。

人々の願いを運ぶ午のごとく、力強く着実に成長し続ける1年になるように、生駒北小中学校スタッフ一同、子どもたちに全力で向き合っていこうと、やる気満々です。昨年同様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域と共にある学校を目指して(1・2学期を振り返って)

令和7年度1・2学期に、地域の皆様や関係団体や施設からのご協力とご支援をいただき、さまざまな教育活動を実施することができました。

【小学校】

作法教室，茶道教室，本の読み聞かせ活動，交通安全教室(歩行・自転車)，町探検による見学，路線バスについての学習，出前お話し会，モルック体験，昔の遊び体験，点字体験，和楽器演奏体験，たかやまこども園との交流活動など

【中学校】

救命救急講習，和菓子作り体験，高校・高専の出前授業，茶筌づくり体験，先端科学技術大学院大学の特別授業，三線・エイサー学習，福祉体験(車いす・手話・点字)，主権者教育学習(選挙について)，職場体験，和楽器演奏体験，保育体験，キャリア教育講演会など

子どもたちを取り巻く環境や社会は、めざましい速さで変化しています。その中で自分らしく生きていくために多様な力を子どもたちが身に付けられるように、学校教育もその変化に対応していかなければなりません。そのためにも、地域の皆様のお力を学校教育に貸していただくことが大切です。3学期もいろいろな体験学習が予定されています。これからも生駒北小中学校のために、よろしくお願いいたします。